

CSR経営の成果

地域社会との調和

企業市民として、事業を取り巻くさまざまなコミュニティとの関わりを尊重し、調和のとれた地域社会の維持・育成に向け積極的に行動しています。

関連するSDGs



方針・アプローチ

基本的な考え方

「ものづくり」の現場は、地域の皆様との日常的な協力関係の上に成り立っています。当社は地域社会を構成するさまざまなコミュニティに対する貢献を継続的に展開し、企業市民としての責任を果たしていきます。

さらに当社は、未来を担う若い世代に対する貢献など、教育・文化の担い手としての活動も、等しく重要な企業の責任と位置付け、多面的に活動を推進しています。

取り組みの柱

1. 社会貢献活動
2. 文化貢献活動

取り組みの柱：1. 社会貢献活動

現場見学会の実施

当社では、社会の皆様との相互交流の場、そして、事業への理解を深めていただく機会として、地元の方や小中高生を対象にした現場見学会を各地で開催しています。2017年度も各地で多彩な現場見学会を実施しました。

当社はこれからも、地域の皆様とのコミュニケーションを大切にし、現場見学会などの社会貢献活動を推進していきます。

兵庫県上石トンネルでの現場見学会

兵庫県豊岡市上佐野～日高町竹貫地先の「日高豊岡南道路上石トンネル工事（発注者：国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所）」の現場において、地元小学生やその保護者の方々を対象に、現場見学会を開催しました。

主な内容は、工事概要説明、トンネルのつくり方、トンネル仮設備や大型機械の説明などを、工事現場をご覧いただきつつ実施するものです。トンネル完成後には見ることでない側壁導坑先端まで実際に入り、構築物に触れることで、

超大断面トンネルのスケールの大きさを実感していただくことができました。

新潟県国道289号線橋梁工事での現場見学会

新潟県三条市塩野淵地先の「国道289号2号橋梁上部工事（発注者：国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所）」の現場において、県内の高校生を対象に、現場見学会を行いました。

主な内容として、橋梁工事の工法や工事の進め方、各種設備の説明を行いました。

また、工事概要の説明に加え、鉄筋の組み立て体験や、工事用の足場を使用したマネキン落下による危険体験実験と安全装備の使用方法を体験していただきました。

参加者には、土木を進路として検討している方も少なく、今後に向けた検討の一助となれば幸いです。



地元小学生・保護者の皆様と共に記念撮影



熱心に体験学習をする高校生

2017年度 主な活動

取り組みの柱：1. 社会貢献活動

高校生による企業訪問の受け入れ

当社は、青少年のキャリア教育研修に寄与することを目的として、NPO法人学校サポートセンターを介した学生の企業訪問を受け入れています。

2017年度は、建設現場での社員とのふれあいや、具体的な仕事内容の説明、体験を通じて建設業へ関心を高めてもらいたいとの思いから、仕事体験メニューも盛り込んだ現場見学会を実施しました。

当日は、北海道北広島西高等学校から2年生の5名が首都圏建築支店「品川大崎作業所」を訪れました。1階から順に工事の進捗状況が変化する建物内部の見学を行い、各フロアで工事の説明を興味深く聞き入っていました。測量体験では

初めて触れる測量機器の使い方を分かりやすく説明し、楽しみながら「建設」に触れていただきました。



現場事務所での工事概要説明に熱心にメモを取り耳を傾ける参加者たち

取り組みの柱：1. 社会貢献活動

外国人技能実習生の受け入れ

外国人技能実習制度は、開発途上地域等への技能、技術または知識の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする制度として、我が国の国際貢献において重要な役割を果たしています。

当社においても、ネパールからの技能実習生8名を福井県、兵庫県の山岳トンネル現場に受け入れています。実習生は3年間の実習期間で、当社が培ってきた施工技術や、安全・品質管理について、実施工の中で学んでいきます。実習生を受け入れてから1年がたちましたが、彼らの意欲的で熱心な働きぶり、勤勉な態度は、私たちにとっても良い刺激となっています。



技能実習生の作業状況

取り組みの柱：2. 文化貢献活動

「明治神宮薪能」への奉納協賛

当社は、毎年秋に行われている「明治神宮薪能」に奉納協賛しています。1982年の第1回に浩宮様（現・皇太子徳仁親王殿下）をお迎えして以来、これまで36回の開催を数えます。

明治神宮薪能への奉納協賛は、当社が1980年に国立能楽堂（東京都渋谷区）の工事を受注したことを機に、伝統芸能の継承や能楽振興の一助になればと始めたものです。「広く多くの皆様に薪能を楽しんでいただきたい」との考えから、はがき抽選による一般応募の方々を含め、毎年約2,000名を無料でご招待しており、お客様のみならず能・狂言の演者の皆様からも評価の高い催しとなっています。



第36回明治神宮薪能「養老 水波之伝」（撮影者：三上文規）